

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		絆 伊勢教室				公表日	2025年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	基準以上のスペースを確保しています。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準以上の職員の配置を行っています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	職員間で話し、危険が予測される場所の確認、修繕を進めています。一人ひとりに適した環境を作っています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	加湿付き空気清浄機の完備を行っています。また、物の配置など日ごろから見直しを行っています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	状況に応じて別室を利用している。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的に会議を行っています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表だけではなく、送迎時等で保護者様の意向を把握できる環境を整備し、対応しています。	今後も必要に応じ改善していきます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ミーティング等で意見交換を行い検討・改善しています。	引き続き業務改善に努めていきます。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		今後、第三者委員会等での評価を検討していきます。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	オンライン研修などへの参加、事業所での勉強会などを行っています。	今後も研修案内等しっかりと行っていき、資質の向上に努めていきます。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムの作成を行っています。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	利用者様・保護者様の意向を反映させた上で職員間で見直ししながら計画を立てています。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティング等で情報共有を行っています。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員が個別支援計画をいつでも観覧できるようにしています。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	定期的にあセスメントシートの見直しを行い細かな情報を把握できるよう会議等で共有しています。また、個別の支援記録を残し職員がいつでも見れるようにしています。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「放課後等デイサービスの提供すべき支援」を踏まえたうえで、子どもの特性発達状況に応じて個別支援計画への反映しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間で活動内容の確認を行い、必要に応じて修正をしています。	今後も職員間で活動プログラムの確認や提案を行い、充実した活動内容の提供を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	適時、内容の見直し、各職員の意見を反映させ活動の充実を図っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	状況把握を行いながら、個々に応じた計画を作成しています。	今後も職員間で話し合いを行い、作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼を行い、その日の注意事項や活動で留意事項を伝えあっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	その日の様子などを話し合う時間を設けています。また、必要な情報は個別の記録に記入を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	個別の支援記録を作成しています。また、職員が常に閲覧できる場所に保管し日々振り返りを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	概ね6か月に1度見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	活動時だけでなく自由時間の中で他者との関わりや工作遊びも行っていきます。外での遊びとして近隣の公園にて地域の子どもたちと遊ぶこともあります。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	事業所で過ごす中でやりたい遊びなど選択できるようにしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	会議内容により適任者を選んで出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要に応じ各関係機関と連絡・連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校行事への参加や送迎時に情報の共有を行い、連絡の調整や対応をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	必要に応じ各関係機関と連絡・連携を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	必要に応じ各関係機関と連絡・連携を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	研修会への参加等行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	望まれないご家庭もある為現在は行っていません。	公園等で地域の子どもと一緒に遊ぶこともあるので、今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	コロナ過以降、協議会等への参加は現在ありませんが、要請があった際に参加できる体制を整えています。	今後も要請があった際には積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時に日々の様子を伝えていきます。また、必要時には電話等で話し合いを行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加ができる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	必要に応じ情報提供を行っています。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行っています。また、不明な点などがあつた場合は随時説明をおこなっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	意向を計画書に記載し、支援計画を作成しています。	今後も意向を確認していき共通理解のもとサービス提供を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	しっかりと時間をとり説明をおこなっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	申し送り時に、話しを行う時間を作り、必要に応じて対応しています。	今後も相談があつた際には支援を行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	現在は、保護者同士が交流を行う場を設けていません。今後の課題としていきたいです。	開催方法等、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情・相談窓口を設け迅速に対応できる環境を作っています。	今後も、困り事などの対応が迅速に行えるよう環境整備を行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	保護者通信やホームページ LINE等を使って情報を配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付き書庫での保管、職員への秘密保持の徹底を行っています。	今後も、情報の取り扱いに十分に注意し、会議等でも個人情報保護について周知徹底していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	一人ひとりにあつた伝達方法にて対応させて頂いております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	必要時には、学校や各関係機関等、見学を行っています。	コロナ過以降感染症予防の観点から現段階では難しいですが、開催方法を検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	対応マニュアルをその都度更新し、全体への周知を行っています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的な避難訓練を行っています。また防災メールの活用を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	利用開始時にアセスメントにて確認を行っています。また、受診時に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	利用開始時にアセスメントにて確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修・訓練を行っています。	今後も周知に努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		今後も周知に努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	0	必ずヒヤリハット報告を行い、事業所全体で共有・把握しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止責任者を決めています。また、研修会を行っています。	職員のストレスチェックや面談を含め、今後も職員への周知を行っていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。		